

区民等との意見交換会の概要

本委員会における調査・検討に資するため、以下のとおり区民等との意見交換会を開催した。

1 開催日時

令和7年9月26日（金） 午後3時00分～午後3時52分

2 参加者

- （1）墨田区老人クラブ連合会会員 8人
- （2）墨田区議会高齢者対策特別委員会委員 9人

3 内容・テーマ

「高齢者が抱える課題（特に終活、独居、住宅確保及び権利擁護）について」

4 意見交換会の概要

15：00 開会

①委員長あいさつ、②委員紹介【副委員長】、

③墨田区老人クラブ連合会会員自己紹介

15：05 3グループに分かれて意見交換を実施

15：35 グループごとにどのような意見があったかを発表

15：48 全体を通しての意見交換

15：52 委員長あいさつ、閉会

～ 意見交換会における主なご意見は次のとおり ～

3 グループに分かれての意見交換における主なご意見

Aグループ

- ・ 老人クラブの会員は元気な方が多いが、会員が減ってきている。東京都全体でも同様。
- ・ 高齢者が一人で住んでいると、何かあったときに誰にどう伝えるかが課題。常に連絡できるネットワークがあるとよい。
- ・ 集合住宅に住んでいるとどのような高齢者がいて、どのようなことに困っているのかわからない。一戸建てに住んでいるとつながりがある。
- ・ 個人情報の関係で高齢者の情報が入りにくくなっている。
- ・ 老人クラブと町会とがもっと連携することが大事。町会が訪問したときに高齢者がいれば老人クラブを案内することができる。
- ・ 町会の行事には老人クラブの会員がいるし、老人クラブの行事には町会の方がいるので、組織は違うがお互いが協力することが大事。
- ・ 高齢者は増えているが、老人クラブは減っている。町会や老人クラブは行政の地域との連携に重要なので、大切にしてほしい。
- ・ 老人クラブに入ってもらうためには活動が楽しくないといけないと思うが、様々な活動を行うために会費を値上げするのは難しいので、行政からの補助金を増額してほしい。
- ・ 老人クラブの活動で独居高齢者を訪問している。
- ・ 墨田区は見守りを丁寧に行ってくれているが、老人クラブともっと連携することが大切だと思う。
- ・ 高齢化が進むと住居が心配。賃貸住宅も高くなっていて、年金で生活している高齢者は入ることができない。そういう方たちを区としてどう支援していくのか検討することが必要。
- ・ 健康でも入れて、年金で生活ができる、都市型軽費老人ホームのような施設を整備してほしい。入居後、病気になっても様々な対応をしてくれるだろうし安心して生活できる。
- ・ 河川の近くなど高齢者が散歩することが多い場所に、高齢者が運動できる器具がある公園を整備してほしい。高齢者がもっと楽しんで健康づくりができると思う。
- ・ 公園のトイレが和式しかなく汚いところがあり、非常に使いにくい。
- ・ コミュニティバスは、運転手の課題等あると思うが、双方向に走行してほしい。
- ・ 老人クラブや町会が地域に与える影響はとても大きい。地域に根差して、楽しい人生を過ごすために老人クラブも頑張っている。そういう覚悟を見ていただいて、必要な支援をお願いしたい。

Bグループ

- ・ 老人クラブでも独居高齢者の見守りをしているがなかなかいきわたらない。
- ・ 高齢者が困ったとき子どもたちが助けてくれることが多いが、子どもがいない方は大変だと思う。
- ・ 個人情報の管理が厳しいため、3か月くらい亡くなったことがわからないこともある。

- ・ 難しいと思うが、町会長にはどこに誰が住んでいるかくらいは情報提供してほしい。
- ・ 高齢者の情報が入ってこないため、お祝い金を持っていくと、本人が亡くなっているということもあった。
- ・ 特に、マンションに住んでいる方は名前すらわからず、つながりが希薄になっている。
- ・ お隣同士で、日常の手助けをする関係性もある。最近は昔と違って関係性が希薄になってきている。
- ・ 集合住宅に住んでいる高齢者とのつながりができず、どこに高齢者が住んでいるかもわからないため、老人クラブへの勧誘ができない。対象者かどうかだけでもわかるとよい。
- ・ 活動に参加している方の場合、誰が来ていないかわかるため見守りにつながる。
- ・ 老人クラブに入るといろいろな方とつながって見守りの目が多くなる。
- ・ 老人クラブの活動等への男性が参加は非常に少ない。
- ・ 高齢者が増えているが老人クラブ会員は減っている。退会する方はほとんどいないが、入る方が少ない。数は少ないが、町会には入らず、老人クラブに入る方もいる。認知症になって退会する方はいる。
- ・ 会長をやる方がいないことで、クラブがなくなることがある。
- ・ 新しい住民との関わりが難しい。近隣住民との付き合いが嫌な方もいると思う。
- ・ 成年後見制度については認知されていないと思う。
- ・ まちのバリアフリー化を進めていただきたい。

Cグループ

- ・ 終活という言葉は、生活を終わらせるという意味で、高齢者の胸に突き刺さる。嫌がる場合があるのではないと思う。断捨離という言葉もよくない。
- ・ 新しいものを買おうという意識がなくなってくる。
- ・ 老人クラブではいろいろな集まりがあり、参加してもらえれば元気になって、次も参加してくれる。
- ・ 東京都が老人クラブという名称としているため変えられないが、この名称に抵抗がある。
- ・ 老人クラブにどんどん若い人に入ってほしい。
- ・ 60歳代の頃にエンディングノートを自分で作った。年を重ねて考え方が変わることがあるので、追記したり消去したりして続けている。
- ・ 老人クラブの活動で毎日にはできないが独居高齢者の見守りをしている。
- ・ 賃貸住宅を年齢で退去させられ、民生委員の支援により無事引っ越しができたという事例があった。相談できるルートがあるとよいが、いざというときにどこに相談したらよいかわからない方が多い。
- ・ 包括センターが近くにあると、何かあったときに、相談し対応してもらえる。そういった施設があることを周知することが必要。
- ・ 後見人制度をもっと周知する必要がある。
- ・ 老人クラブの助成金が20年くらい同じままとなっている。活動するにも助成金だけでは足りず、会費をいただいているが、分担金を払うとほとんどなくなってしまう。低額の

助成金で必死に活動している。

- ・ 老人クラブの助成金が会員 1 人から 1 0 0 人まで同額となっている。会員 1 人当たりで算定する助成金制度にしてほしい。基準額も上げてほしい。